関西大学経済・政治研究所
第206回産業セミナー

聴講自由

【開講の挨拶】

本研究班は、東アジア地域における経済、金融、産業、経営システムの発展と地域内の相互関係の深化を射程に入れながら、多面的な研究に取り組んでいる。今回は、まず、自今の中国と台湾の経済関係のあり方に一石を投じる、今年 3 月末に起きた台湾の学生運動を取り上げ、その影響を報告する。次に、国際経営戦略の観点から、近年めざましい経済成長を見せている新興国での事業展開に求められる経営モデルと組織形態を提言する。

＜東アジア経済・産業研究班　主幹　施　學昌＞

日　時：平成 26 年 10 月 15 日(水)13：00～16：10
会　場：りそな銀行大阪本社地下 2 階講堂

（大阪市中央区備後町 2-2-1 地下鉄堺筋線「堺筋本町」駅 17 番出口より徒歩、北へ約 100m）

【テーマと報告者】

「太陽花（ひまわり）が訴えているもの
――台湾の学生運動が中・台経済関係に与える影響――」

東アジア経済・産業研究班主幹
総合情報学部教授　**施　　學昌**

「新興国における国際経営モデルの変化と組織の多様性」

東アジア経済・産業研究班研究員
総合情報学部教授　**伊佐田文彦**

◆ 対象者　経営者、企業・行政関係者、社会人
◆ 聴講自由　参加ご希望の方は、当日会場にお越しください。（定員 200 名）
◆ 連絡先　〒564-8680　吹田市山手町 3 丁目 3 番 35 号
関西大学研究所事務グループ TEL(06)6368-1179／FAX(06)6339-7721
http://www.kansai-u.ac.jp/Keiseiken/

主　催　関西大学経済・政治研究所
後　援　大阪商工会議所
大阪市工業会連合会
大阪市産業経営協会
株式会社りそな銀行

関西大学

130 KANSAI UNIVERSITY